

『町をきれいにするって、気持ちいい』

10月30日、全校生徒が各地域の分団に分かれてゴミ拾いをする「老上クリーン作戦」を実施しました。1時間程度での活動でしたが、空き缶、ペットボトル、タバコの吸い殻、ビニール袋など多くのゴミを回収しました。終了後のふりかえりから、ゴミの多さへの驚き、地域の美化に貢献しようという新たな気持ち、地域の方々への感謝の気持ちなど、多くの学びがうかがえました。



(略) 私たちがそうじしていると、家から人が出てきて、「ありがとうございます。」とってくれた人がいて、私はもっとがんばろうと思い、草の中に捨ててあるゴミとか、見えにくいところも目をこらして探しました。(略) いつもたくさん町にお世話になっているので、その町をきれいにするのはとても気持ちがいいんだなと思いました。でも、あまりにもゴミが多すぎて、私はいつもそうじをしてくれている人に感謝しようと思いました。

1年 酒井梨緒さん

生徒の皆さんの感想を読んでいると、学校を出てゴミ拾いをするという一つの活動を通して、さまざまなことを考え、見直し、次の行動につなげていこうとしている、そんな気がしました。

友好を深め、ともに学んだ国際交流

10月31日と11月1日の2日間、草津市との姉妹都市米国ミシガン州ポンティアック市から4名の生徒が本校に来校し、学校生活を体験しました。1年生と2年生の学級での授業体験、放課後の部活体験、生徒会との交流、有志生徒との交流活動などを行いました。

ポンティアック市の生徒に積極的に話しかけたり、授業での活動内容について進んで教えたりする姿から、本校生徒のコミュニケーション力や社交的な姿を垣間見ることができました。有志生徒による交流活動では、それぞれの生徒の興味に応じて日本の音楽、マンガやアニメ、名所、食べ物をわかりやすく堂々と紹介しました。また、ポンティアック市の生徒からは積極的に質問や意見が出されていました。



私は27年前に、滋賀県からの交換教員として約1年間米国ミシガン州に滞在し、多くの学校を訪問し、日本の紹介を行いました。その際、感じたことが2つあります。

まずは、日本のことを質問されても上手く説明できず、日本のことをあまりにも知らない自分に気づいたこと。そして、アメリカの生徒たちがいかに自分の考えや意見をしっかりと話すかということでした。でも、今回の本校の生徒の様子は当時の自分や日本の生徒とはずいぶん違いました。

歴史的にも文化的にも大きく異なる地で育ったもの同士がわかり合うことは難しいことです。しかし、違いを避けたり批判したりするのではなく、長年にわたる交流を通してお互いの良さを尊重して学び合ってきたからこそ、それが自分たちの物事の見方を広くし、一層成長させてくれたのでしょ



持てる力を発揮！

～ 特別支援学級、交歓スポーツ大会 ～

10月13日（金）、草津総合体育館にて交歓スポーツ大会が開催されました。交歓スポーツ大会とは、県内の特別支援学校や特別支援学級の生徒がつどい、スポーツを通して交流を深め、体力や気力の向上をめざす大会で、年2回実施されています。



今回の大会は卓球競技が行われ、本校からも多くの生徒が参加しました。熱戦が繰り広げられ、本校生徒は皆一人ひとりが持てる力を十二分に発揮し、大健闘でした。

今回の大会は卓球競技が行われ、本校からも多くの生徒が参加しました。熱戦が繰り広げられ、本校生徒は皆一人ひとりが持てる力を十二分に発揮し、大健闘でした。

結果もすばらしかったのですが、お互いにたたえ合ったり他校の生徒と話をしたりでき、とても良い大会でしたね！

林先生より

昼休みにたくさんの人が6組に来て一緒に卓球ができたことが成果につながりました。

齋藤央先生より

チャレンジプランに取り組みます！

学力学習状況調査の結果の分析をもとに、今年度、本校全体で下図の①から⑤の取組を重点的に進めることにしました。

*②の「帯活動」とは、授業の最初5分程度を活用し、既習内容や現在の学習内容に関連した重要事項について、重点的に学習を進めるものです。



草津市
青少年
美術展
出品作品
より



2年 山内美侑さんの作品
(立体の部県特選)
夏をイメージ。「ぬくもり」や「なつかしさ」を……。



3年 高丸葵久華さんの作品
(立体の部推奨)
「表と裏」人の気持ちの表と裏を表すことを工夫。